

3歳児健診 よくあるご相談

旭区役所 こども家庭支援課

Q. 弟に乱暴するようになりました。今までできていた着替えや歯磨きも「やって！」と言ってくるので困っています。

下のお子さんが生まれ、上のお子さんが乱暴になることはよく見られます。自分をみてほしいという子どもなりの必死のアピールかもしれせん。お兄ちゃん、お姉さんらしさを大事にしながらか出来るだけ上のお子さんとの時間を作るとよいでしょう。
(5分でOK。TVやスマホは見ません。)

一緒におやつを食べる、作った作品を大事にしまおうなど子どもにとっては嬉しいものです。靴を履かせてほしい、食べさせてほしいといった要求は、多くは一時的なものです。叶えてあげてよいと思います。

(続き)

多くの方は、これでいいのかな、また怒ってしまったりなど不安になったりイライラしたりすることもあると思います。

このような状況が続く中、なおさらです。

ほどほどでよい、ほどよい母親で大丈夫です。

完璧に応えようとしたりまたは先回りして過剰に

介入したりしないで、こどもが怖がったならなくさめる、励ます、喜んだら一緒に喜ぶといったことを大事にすればよいと思います。

Q. 落ち着きがなくじっとしてられません。どこまで許していいのか、どうやって叱ったらいいのかわかりません。

3歳ぐらいになると簡単な質問に答えられたり要求も言えるようになってきます。随分成長したなあと思われがちですが、順番を守る、空腹を我慢する、いやなことでもやってみる、といった自分の欲求をがまんする力は3歳くらいから徐々に発達していきます。個人差はありますが落ち着きがないお子さんも徐々に待つことができるようになってきます。

(続き)

まずはお子さんに注目し、できていることから言葉にしてみましよう。

「靴下はけたね。」

「ごはん食べたね。」

こどもの行動を言葉にすればよいです。叱るときは人格を否定する言葉は×です。こどもの行動について叱ります。「○○するのはだめ！」と危険な行動には一貫して制止するのも大事です。

ご心配、お困りのことが
ありましたら、
お気軽にご連絡ください。

旭区 子ども・家庭支援相談

045-954-6160